

経営比較分析表（平成30年度決算）

宮城県仙台市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	透I未訓 方	救 臨 感 災 地
人口(人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
1,062,585	52,286	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

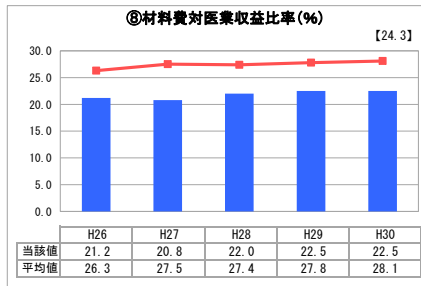
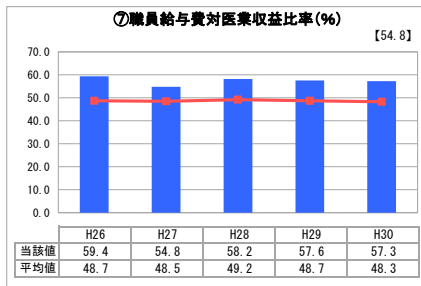
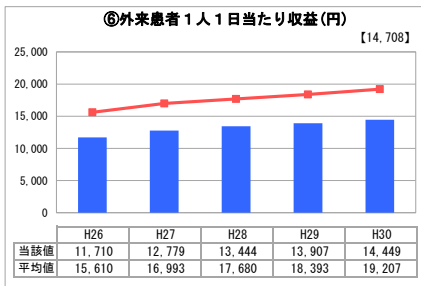
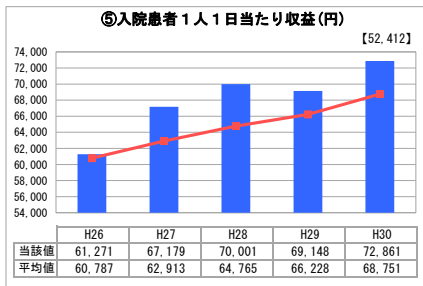
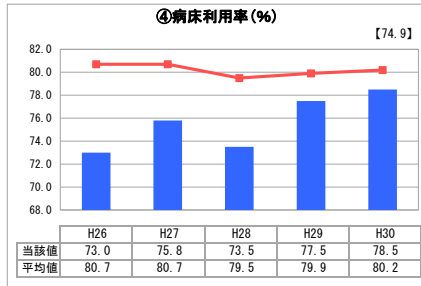
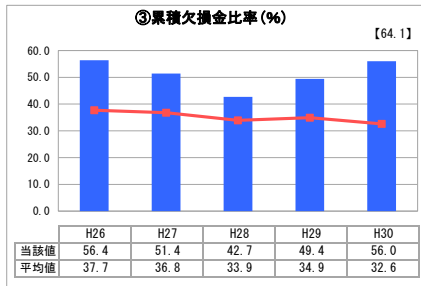
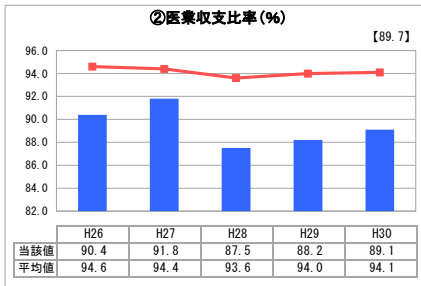
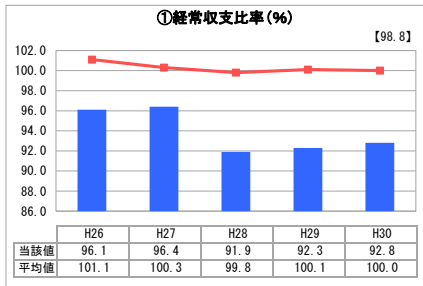
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 がん…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
467	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	8	525
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
467	-	467

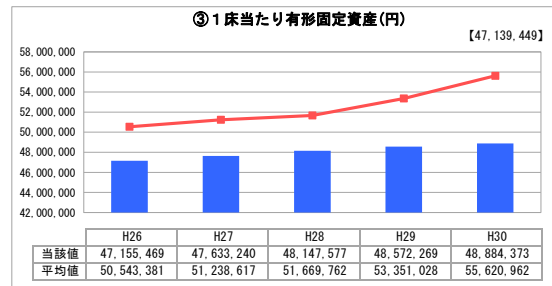
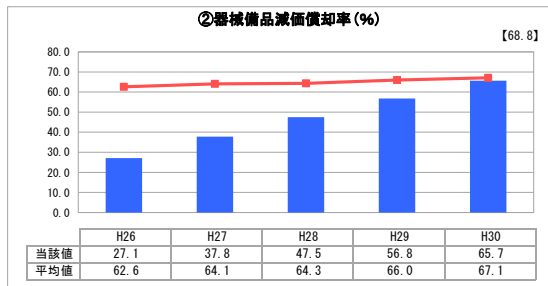
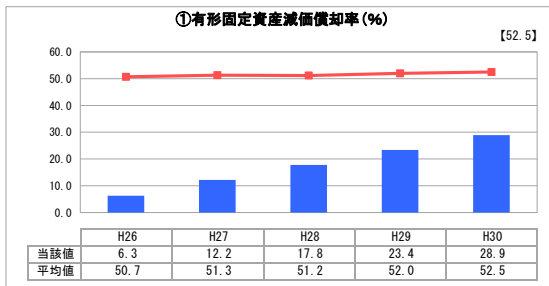
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ①「地域の中核を担う病院」「市民のための病院」としての役割
- ②自治体病院の使命と考える、救急医療・災害時医療・小児救急医療・周産期医療・身体合併症精神科救急医療・感染症医療などの政策的医療を担う役割
- ③「地域医療支援病院」としての役割

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院・外来患者数が増加したことに伴い、医業収益が増加した一方で、材料費をはじめとする医業費用についても同程度増加したこと、並びに現病院関連の固定資産償却費用の影響等により赤字決算となったが、経常収支比率、医業収支比率は概ね前年度より若干改善している。職員給与費対医業収益比率は減少、材料費対医業収益比率は横ばいだが、累積欠損金比率は増加した。なお、病床利用率は、救急搬送患者等の積極的な受入れを図るとともに、病院全体での効率的なベッドの活用に取り組んだことなどにより上昇した。また、患者一人一日当りの収益は、入院・外来ともに患者数の増に伴い増加した。

2. 老朽化の状況について

当院は平成26年11月に移転新築した際に、最新の医療機器を整備したことなどにより、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率、一床当たり有形固定資産は上昇しているが、類似病院平均値を下回っている。

全体総括

現病院整備の際、企業債を約302億円を借り入れ、医療機器整備に係る分の元金償還が集中する令和元年度までは厳しい経営状況を見込んでいた。職員給与費、医療の高度化に伴う薬品や診療材料といった材料費などに見合った医業収益の確保が不可欠と考える。また、現病院関連固定資産の償却開始に伴う減価償却費の影響等により、当分は経常収支比率100%の達成は困難と見込んでいるが、「仙台市公立病院改革プラン2017」及び当該プランの実施計画と位置づけた「仙台市立病院経営計画(2018年度～2020年度)」において定めた、課題解決に向けた具体的な取組みを着実に推進していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。